

令和2年度 第1回 西いぶり定住自立圏共生ビジョン懇談会 要点記録

室蘭市企画課作成

日 時：令和2年9月3日 14:00～14:30
場 所：西いぶり広域連合 2階会議室
出席者：永井座長、米野委員、川南委員、松村委員、三宅委員、石田委員、引地委員、石崎委員、永井委員、小杉委員代理
事務局：室蘭市企画財政部 高橋次長（企画課長事務取扱）、鈴木係長
オブザーバー：登別市総務部企画調整グループ 有馬主査
伊達市企画財政部企画課 岡村課長
胆振総合振興局地域政策課 水井課長

■ 報告事項

◆ 委員の変更について

- ・今年委員2名の交代と退任があったため事務局より報告。

交代

室蘭銀行協会 三宅大輔 氏（4月交代）

公益社団法人 室蘭市医師会 佐藤弘太郎 氏（7月交代）

退任

人がかがやくいぶりの国 村上寿雄 氏（8月退任）

■ 議題1 西いぶり定住自立圏共生ビジョン改訂について

■ 議題2 西いぶり定住自立圏共生ビジョンに基づく各事業のKPI進捗状況について

【資料1】【資料2】について、事務局より説明。

◆ 意見交換、質疑等

（委員）

- ・新たな協定分野の追加・変更は行わないとのことだが、新たな要素を盛り込むことは可能か。例えば子ども食堂やフードバンクの連携、食品ロスの取り組みは多岐の分野にわたるため、位置づけが難しく、なかなか行政の方でも進んでいない面がある。
- ・このような多岐にわたる取り組みをどう位置付けたらよいか提案したいと思っているが、安心して暮らせる地域づくりや環境分野、子どもの居場所づくりなど、どの分野になるのか見解を伺いたい。

（事務局）

- ・現在、具体の検討を進めているわけではないが、1つの事業が複数の要素を持っていた場合、特定要素の部分が定住自立圏のビジョンに合致するのであれば、ビジョンに位置付けることは可能。

(委員)

- ・最も合致する分野に位置付けて、関連事業として他の分野にも位置づけということか。

(事務局)

- ・場合によっては、再掲という見せ方など工夫の余地があると考えている。

■議題3 次期共生ビジョン策定に向けたスケジュールについて

【資料3】について、事務局より説明。

◆意見交換、質疑等

(委員)

意見無し

■その他

(委員)

- ・(参考資料1)各事業の取組実績だが、共生ビジョンの10の協定分野に位置付けられている事業ということであれば、どの事業がどの協定分野に位置付けられているのか明記してあると分かりやすい。同じくKPIについても、併記してもらえると見やすい。

(事務局)

※今後は協定分野の明記等、考慮のうえ資料を作成。

(委員)

- ・冒頭の報告で委員の退任の話があった。名簿をみると欠員の分野があるが、委員の補充方針は。退任された委員の後任は。

(事務局)

- ・委員の構成はビジョン懇談会設置要綱に基づき各分野から選出、概ね25名程度としているところだが、圏域の人口や各団体の構成人員も減少傾向にあり、委員構成のあり方については見直す時期にきていると感じている。
- ・基本的には、各分野から少なくとも委員を1名選出することが望ましい。退任によって、その分野から選出の委員がいなくなる場合は後任が必要と考えるが、今回は複数人いるので不要と判断した。

(委員)

- ・KPI(重要業績評価指標)は、次の目標年度を決めて、新たに設定したものが次回の懇談会で示されるのか。

(事務局)

- ・次期ビジョンの計画期間が令和3年度から令和7年度までの5年間となるので、5年間の目標値としてKPIを設定する予定。

(委員)

- ・今のKPIを達成したものについては、新しいものになるのか。

(事務局)

- ・これまで幹事会や副市町長会議、推進協議会を経て、協定分野については追加変更を行わないこととなったが、KPIは色々指摘があったことから改めて検討する予定。

(委員)

- ・同じ事業を続ける場合は新しいKPIを設定し、目標を達成しなかったものについては、やめる又は修正したKPIとするのかを検討し、次回懇談会で示されるのか。

(事務局)

- ・現在の日程では、11月までに素案を作成し、2月に第2回のビジョン懇談会を開催する予定だが、2月の時点ではビジョンがほぼ確定した内容になってしまうので、中間時点で委員の皆さんの意見をどう集約するか検討している。改めて会議を開催するか書面開催とするか、今後の進め方について、本日皆さんにご意見いただければと思う。
- ・確認したいことがあれば、事務局の方で随時対応するが、いただいた意見については、事務局で集約し、委員の皆さんと共有化を図った上でビジョンに反映させたいと考えている。

(委員)

- ・スワンネットのKPI目標値が260機関となっているが、達成は厳しい状況。総務省や北海道から支援を受け、参加機関からも参加料をいただいているが、3市3町からも協力をいただかないと設備の増設などは厳しい状況。
- ・そのような状況のため、次回ビジョン懇談会でも意見を述べたく、参加させていただきたい。もし会議の開催が難しい場合は、書面開催など意見を述べる機会を設けていただきたいと思います。

(事務局)

- ・中間時点で意見を集約するにあたり、会議の開催方式については事務局側に一任ということでもよろしいか。
- ・事務局としても、11月をめどに作成する骨子案に皆さんの意見を反映させるため、早めにご意見をいただきたいと思います。本日の資料をベースに早い段階で意見照会をするのが良いと考えている。いただいたご意見を集約の上、意見の反映結果について皆さんと共有したいと思う。

(座長)

- ・議論の過程は見た方がよいので、反映結果も含め、次回示していただければと思う。
- ・住民交流・移住促進分野の委員の方にお聞きするが、どのような事業を行っているのか。

(住民交流・移住促進分野の委員)

- ・ティーミーティングという市民活動団体が集まる交流会を開催している。令和2年2月に開催したが、コロナの関係で開催方法の変更もあったところ。来年以降どうするか課題はあるが、今後も開催する方向で進めている。

(座長)

- ・移住促進に関する事業はどんなことをやっているのか。移住促進に該当する委員はいるのか。

(事務局)

- ・移住促進分野の取り組みとして、3市3町で西いぶり「生涯活躍のまち」構想に基づき移住促進に向けて取り組んでいるところだが、移住促進分野の委員については、現在はいない状態となっている。

(座長)

- ・移住促進に関して何か民間でも取り組んでいるのか。

(住民交流・移住促進分野の委員)

- ・移住促進などの活動をしている団体とも連携を取っているので、そういった点では、まちの魅力発信や移住にもつながっているのではないかと思う。

(座長)

- ・次回以降の進め方だが、事務局側で委員の皆さんへ意見照会し集約の上、次回ビジョン懇談会に臨んでいただければと思う。

以上